

技術情報シート

1. 技術の名称	可燃ごみの破碎・乾燥・固形化によるごみ固形燃料化施設(RDF施設)
2. 技術の内容	家庭から排出される可燃ごみを固形燃料にする施設で、以下の特長を有する。 ・ 運搬性向上により、焼却処理を集約することができ、ダイオキシン対策が行える。 ・ 貯蔵性向上により、ごみの受入と燃焼を切り離すことで、最適なタイミングで固形燃料が利用できる。
3. 技術の概要	【技術の目的・用途】 ごみ固形燃料化で運搬性と貯蔵性が向上し、ダイオキシン対策が困難な小規模な焼却施設の集約化と発電施設での需要に沿った焼却が可能となる。 【技術の特長】 ごみ固形燃料化施設フロー ごみ固形燃料(RDF) 技術の目的・用途、技術の特長、実績、価格 <運搬性向上による焼却処理集約化とダイオキシン対策> ごみを複数の小規模施設で乾燥固形化することで、運搬性が向上し大規模施設に集約できる。小規模なバッチ焼却時に発生するダイオキシンの対策が連続焼却により可能となる。 <貯蔵性向上による利用タイミングの最適化> ごみを乾燥固形化することで腐敗の抑制と減容ができ貯蔵性が向上する。焼却利用する側のニーズにあったタイミングで利用することができる。発電施設では需要のピークにあわせた発電が可能となる。 【実績】 日本国内で発電施設向けのごみ固形燃料化施設 4 件の建設実績。 【価格又はその問い合わせ先】 住所: 〒140-0002 東京都品川区東品川 3 丁目 15 番 10 号 極東開発工業株式会社東京本部 環境事業部営業部 伊 東 和 剛
4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理、リサイクル(サーマル)
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、食品・生ごみ
③提供役務	技術提携・供与
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	中国、韓国、ASEAN 加盟国
6. 検索キーワード	ごみ固形燃料、RDF、発電、運搬、貯蔵、ダイオキシン
7. 問合先窓口・担当者	住所: 〒140-0002 東京都品川区東品川 3 丁目 15 番 10 号 極東開発工業株式会社東京本部 環境事業部営業部 伊 東 和 剛 URL: http://www.kyokuto.com/